

長野県高森町・株式会社ぐるなび 地域活性化起業人制度による派遣に関する協定締結 長野県では初の地域活性化起業人派遣

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎 以下、ぐるなび）と長野県高森町（町長：壬生照玄）は、「地域活性化起業人制度による派遣に関する協定」を2023年3月31日付で締結、本協定に基づき総務省の「地域活性化起業人制度」を活用し、2023年4月より従業員1名を高森町に派遣します。

2023年4月10日（月）13時30分より、町とぐるなびの関係者が出席し、高森町役場にて協定式を行いました。式では地域活性化起業人として派遣されるぐるなびの従業員が今後の活動について抱負を述べました。

派遣従業員は、高森町の食の魅力、課題の分析や観光コンテンツの制作、生産者や飲食店、宿泊施設等事業者と連携した新たな町の魅力創出などに取組むほか、高森町魅力を食などを活用して情報発信に取り組み、観光振興につなげることで来訪者の増加を目指します。

また、ぐるなびの持つ事業インフラやノウハウを総合的に提供することで、地域経済の活性化を目指します。ぐるなびの地域活性化起業人派遣については全国で15例目、長野県では初となる取り組みです。

ぐるなびは「食でつなぐ。人を満たす。」という存在意義（PURPOSE）のもと、事業を推進しています。今後も、食や観光を通じた地域の活性化を日本全国の自治体と連携しながら進めていきます。

■「地域活性化起業人制度による派遣に関する協定」

- （1）地域の魅力、課題の調査・分析に関すること
- （2）観光コンテンツの制作支援に関すること
- （3）町内商品等の販売支援に関すること
- （4）地域の生産者や飲食店、宿泊施設等事業者との連携に関すること
- （5）その他食を通じた交流人口・関係人口の創出、拡大に関すること

■「地域活性化起業人」派遣期間

2023年4月1日から（最長3年間）

■ 高森町 概要



左上：松源寺の鐘楼と市田柿の柿すだれ
右上：ご当地どんぶり「高森アルプスサーモン丼」
左下：プレミアムなドライフルーツ「市田柿」
右下：屋台獅子の源流と言われる大島山の獅子舞

中央アルプスと南アルプスに囲まれ、天竜川がその間を流れる信州・伊那谷。高森町はこの伊那谷の南部、天竜川の西岸に広がる河岸段丘の町です。長野県の中でも比較的温暖な気候であり、各種農産物の南限・北限の境界に位置し、りんご、なし、ぶどうなどの美味しい果物や野菜を収穫することができます。また、高級干し柿の代名詞とも言える『市田柿』の発祥の里として知られています。

高森町は伝統芸能も盛んで屋台獅子の源流とされる『大島山の獅子舞』や日本一の学校桜で名高い『南小学校のソメイヨシノ』など多くの自然や歴史資源が豊富です。

また、現在工事が進められているリニア中央新幹線や三遠南信自動車道など高速交通網が今後開通することにより、都市部との移動時間がぐっと短くなります。

■ 高森町人口・世帯数（2023年3月末日現在）

人口：12,811人・世帯：4,600世帯

<URL><https://www.town.nagano-takamori.lg.jp/>

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

長野県高森町 産業課 TEL：0265-35-3111 MAIL：sangyou@town.nagano-takamori.lg.jp

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL：pr@gnavi.co.jp

地域活性化起業人 派遣従業員プロフィール**株式会社ぐるなび**

プロモーション事業部 食と観光企画部
食と観光事業統括セクション
食と観光事業グループ
兼 地域プロモーショングループ

岩佐 信宏**(いわざ のぶひろ)****<出身地> 神奈川県横浜市****<自己紹介>**

大学卒業後、カナダにてワーキングホリデーにて1年間海外で過ごす。帰国後、俳優を目指し、テレビ、舞台にて俳優活動を約10年間行いました。

ぐるなびでは営業、営業推進、地方拠点のマネージメント、インバウンド、プロモーションの部署で業務を行い、現在21年目を迎えます。今後は地域を活性化させる活動に従事したいと考えています。

これまでに培ったビジネス経験を活かし、高森町の「魅力を伝えきれていない食体験・自然体験」を発掘・磨き上げ、国内外へ情報を発信するお手伝いさせて頂き、地域活性化に貢献して参ります。

<略歴>

- | | |
|----------|--|
| 2002年10月 | 株式会社ぐるなび入社 |
| 2002年10月 | 加盟店営業部門 |
| 2003年10月 | ぐるなび大学インストラクター 年間200回超のセミナー講師を務め、
営業活動へのトスアップ及びウェブマーケティング講座を担当 |
| 2005年4月 | ぐるなび大学リーダー |
| 2007年4月 | ぐるなび大学グループ長 年間2,000回以上のセミナー・イベント開催し、
営業活動（新規獲得、ARUP拡大）への貢献を図る。 |
| 2011年4月 | 仙台営業所 所長
震災直後の営業拠点の責任者を任され、売上2億→5億への売上拡大
営業受注実績18ヶ月連続達成など5年間で表彰16回。
地域の社団法人「東北の食の力PJCT理事」も勤め、地域の飲食店経営者、
生産者と連携した食イベントを開催し、宮城・東北の食の情報発信を行う。 |
| 2016年4月 | 横浜営業所 所長 |
| 2017年4月 | 地域営業シニアリーダー
自治体（横浜市、川崎市、湯河原町、静岡県）との地域活性化連携協定を担当。 |
| 2019年4月 | インバウンド戦略グループ 副グループ長 |
| 2020年4月 | プロモーション事業部 プロモーション営業部 シニアリーダー |
| 2021年5月 | 楽天パートナーグループ 楽天モバイル企画推進本部CASA推進部にて電波改善業務を担当 |
| 2023年4月 | プロモーション事業部 食と観光企画部 食と観光事業統括セクション
食と観光事業グループ 兼 地域プロモーショングループ |

■ 株式会社ぐるなび 概要

1996年に飲食店情報サイト「ぐるなび」を開設。詳細なメニュー情報等を事前に確認してから飲食店に行くという外食のスタイルを定着させました。現在「食でつなぐ。人を満たす。」という存在意義（PURPOSE）のもと、「飲食店経営サポート企業」としてさらなるサービスの拡充を図っています。

<URL> <https://www.gnavi.co.jp/>

■ ぐるなびの地域連携協定（自治体および団体）

	年	月	地域活性化起業人派遣	自治体・その他団体	都道府県
1	2012年	2月		熱海市	静岡県
2	2014年	7月		大田区	東京都
3	2014年	8月		京都市	京都府
4	2015年	2月		新潟市	新潟県
5	2015年	5月		川崎市	神奈川県
6	2015年	6月		北海道	—
7	2015年	7月		福岡市	福岡県
8	2016年	1月		横浜市	神奈川県
9	2016年	2月		一般社団法人九州観光推進機構・ 福岡県商工会議所連合会	—
10	2016年	2月		岡山市	岡山県
11	2016年	6月		大阪市	大阪府
12	2016年	11月		札幌市	北海道
13	2016年	11月		静岡県	—
14	2017年	1月		松山市	愛媛県
15	2017年	2月		広島県	—
16	2018年	4月		湯河原町	神奈川県
17	2021年	2月	2021年4月1日付	邑南町	島根県
18	2021年	8月	2021年9月1日付	和歌山市	和歌山県
19	2022年	3月	2022年4月1日付	新富町	宮崎県
20	2022年	4月	2022年5月1日付	西ノ島町	島根県
21	2022年	5月	2022年6月1日付	都農町	宮崎県
22	2022年	6月	2022年10月1日付	徳之島町	鹿児島県
23	2022年	7月	2022年9月1日付	鹿部町	北海道
24	2022年	7月	2022年8月1日付	浜田市	島根県
25	2022年	8月	2022年9月1日付	七尾市	石川県
26	2022年	9月	2022年10月1日付	奥出雲町	島根県
27	2022年	11月	2022年12月1日付	松江市	島根県
28	2022年	12月	2022年12月1日付	東かがわ市	香川県
29	2023年	1月	2023年1月1日付	千早赤阪村	大阪府
30	2023年	3月	2023年4月1日付	小郡市	福岡県
31	2023年	3月	2023年4月1日付	高森町	長野県